

## 人材革新トップミーティング 2019（第2回人材革新委員会）



令和元年9月30日13時30分から18時30分まで、人材革新トップミーティング2019（第2回人材革新委員会（委員長：福永哲弥 SCSK(株)取締役専務執行役員））として、日本工業倶楽部にて22名の出席により開催された。

人材革新委員会は、人材革新の方向感として「技術者のマインドシフト」「技術者のマインド強化」「トップガン人材の育成」を掲げて、目指す人材像を具体化した上で、人材革新・育成施策を推進するとともに、昨年度実施した働き方改革関連の調査・アンケート結果を多面的に分析し、会員各社への働き方改革施策を提言することを目指している。

これらの成果目標達成に向け、通常の委員会とは異なる環境にて集中的にディスカッションする場として「トップミーティング」を開催した。

最初に福永委員長を中心に「人材革新により目指す人材像についての討議」として、「技術者のマインドシフト」「技術者のマインド強化」「トップガン人材の育成」それぞれが想定する人材像やパーセンテージなどについてディスカッションが行われた。

次に、前回議論した人材革新に向けた機会の提供（アイデアソン等）について、以下の案を検討した。

### 【技術者のマインドシフトのための施策】

内容：新規ビジネス創発に使っている、

検討の「型」であるDCAP研修プログラム

狙い：参加者が、ビジネスアイデアを構想し、

事業として捉えて、企画書にまとめ、発表するまでのプロセスを体験的に学ぶこと。

### 【トップガン人材の育成のための施策】

内容：A案) 講演+ワールドカフェ

- ・トップガン人材※1（1名程度）のプレゼンテーション
- ・聴講者間の対話（50～100名程度）の対話

B案) インプットセッション+フィッシュボール

- ・トップ人材（4名程度）のプレゼンテーション
- ・トップ人材を中心に、聴講者（20名程度）を交えた対話

続いて、昨年度実施した「ITエンジニアのワクワクする働き方に関する調査」の調査結果の振り返りと今年度行う詳細分析の提案が、同志社大学中田教授より行われた。

今年度は、同じ職場にいながら楽しいと思っている人、思っていない人の違いを分析し、また幸福感としてのワクワク感だけではなく、価値創造へのインボルブメントという概念も盛り込んで数値化し、ワクワク感とそのマネジメント・施策について分析したいと提案をいただいた。

なお、ミーティング終了後、懇親会が行われた。

今回は2019年11月18日（月）に開催し、トップガン人材の育成施策の詳細及び経営、マネジメント、企業制度、文化の変革について議論する予定。



（田畑・會木）